

高東京矢高会 ニュース

矢高会忘年会 開催される

平成二十五年12月7日

(土曜日)午後一時から、六本木の「レストラン一億」にて東京矢高会の忘年会が行われました。和やかな内に、おいしいお酒や、料理に舌鼓をうち話も盛り上がり、いい気分になりました。当日の参加者は、中村輝夫(4期)石川義之(5期)本田博(10期)渡辺勤(11期)神田恵介(13期)椿美津枝(13期)植田豊 13期 山本立身(15期)日高勇(19期)酒井富雄(22期)植昇(30期)三宅良二(35期)。会場「レストラン一億」のオーナーは13期の植田豊さん。いろいろご配慮頂きました。石川義之(5期)から「またやろうや」というお言葉を頂きました。今後、恒例行事に。



矢上高校

第66期卒業式

東京支部長 神田 恵介

3月1日、矢上高校第66期の卒業式があり田舎に帰り出席してきました。今年には普通科1組33名、普通科2組32名、産業技術課30名の95名でした。体育館の式場に入るとき廊下にセーラー服と詰襟の在校生が並び「コンチワ」と声をかけてくれフレッシュな雰囲気でした。式の進行はいつもの通りでしたが、代表受領の卒業証書の番号が九千百番台で矢上高校も九千人以上が卒業したのだということを知りました。皆さんは何番でしたしょう。

卒業証書もらい各組ごとに退場するときパフォーマンズとして担任の先生に担任卒業証を渡すとか、グループごとに担任の先生の前で御礼を言うとか、下級生に向かってメールを送るなどがあり、女性は涙を拭いてほほえましい感じでした。

発行日 平成26年3月30日
 号数 第9号
 発行 矢上高校卒業生会東京支部
 発行人 神田恵介 編集人 三宅良二
 事務局 千葉市若葉区若松町
 九〇二二二一五〇三

卒業式の前日2月28日には卒業生会館で新卒者全員が参加しての卒業生会入会式があり、東京支部長としてそれにも出席させていただきましたが、そのとき「卒業したら東京に来る人」と皆さんに問いかけてもひとりも手が上がりませんでした。後から校長先生に聞くと「関東では千葉県の東金の城西国際にひとり行く予定だ」と言っておられました。最近では直接東京に来る人は少なく、関西も少ないようです。広島とか九州とか地元とかばらばらの方でした。また、校長先生は「入れ替わりに入ってくる新入生が少なくて困っている。東京の方で孫とか知人で矢上高校という人はいないだろうか。卒業生の方にも是非頼んでいただけないか」とのお願いがありました。今年募集定員は120名でしたが70名しか集まらなかったようです。せめて2/3、80名を超えさせたいと頑張ったのですが話されていました。それも今年は中学の卒業生が全体的に少なかったこと、また、隣の新庄高校(広島県山県郡)が甲子園に行くのが決まっ

ているとか、川本高校もがんばっているよ
うです。

矢上高校も何とかしなければなりません
せんが、皆さん方のお知恵をまた聞かせ
ていただければ幸いです。三宅美明校長先
生は今年定年だそうです。それと東京
支部にいた八田一利さんが田舎に移住
され矢上高等学校評議員として卒業式
にも出席されておられいろいろ話しを聞
いてきました。皆様方も時々田舎に帰っ
て田舎の元気づくりを励ましをお願いし
ます。

私も井原片田の実家を改修(囲炉裏の
ある古民家に再生)し東京と田舎の半々
の暮らしをする予定です。お帰りになっ
たときは是非私の家にもお立ち寄り下
さい。

矢高会会長の

就任に当たり

矢上高校卒業生会会長

三宅 正隆(10期)

矢高会東京支部の皆様、平素より、
遠い関東の地から、本会発展のため物心
両面にわたりご支援ご協力いただき、厚
くお礼申し上げます。

一昨年より、渡辺生紀会長から、八十
歳を機に後進に道を譲りたい旨の話が
あり、各種の話し合いがありました。そ
の中から副会長の一人である私が後任

候補となり、昨年七月の総会で承認さ
れ、渡辺会長の後を引き受けることにな
りました。

本会は、会員総数九千名を超える大
きな組織となりました。そのトップの重
責を担うにはあまりにも非力ではあり
ますが会員の皆様のご指導とご支援を
頂きながら、何とか任を果たしたいと思
っております。

ここで私の簡単な自己紹介をさせて頂
きます。本校普通科第十期生で、貴支部
の本田博君、日高一考君、三宅光治君た
ちと同期です。生まれは田所地区です
が、今は出羽に住んでいます。島根大学
に進み、卒業後は中学校教員として、主
に石見中学校をはじめ郡内の学校で勤
務しました。現在は、非常勤で出羽公民
館の館長をしています。

渡辺前会長は矢上高校に昭和二十七
年から平成四年まで勤められ、生徒の
産業教育の指導とともに、本会事務局の
一員として活躍頂きました。ご退職後
は本会の事務局長、副会長として、さら
に十四年から二十五年まで、本会六代
目会長として誠心誠意ご尽力いただき
ました。振り返ってみますと実に六十年
にわたり、本会の充実発展のためにご尽
力いただいたことになりました。まさに本
校や本会にとっての「生き字引」的存在の
お方です。これまでのご貢献に対して、
心から敬意と感謝を申し上げます。

昨今、矢上高校における大きな課題

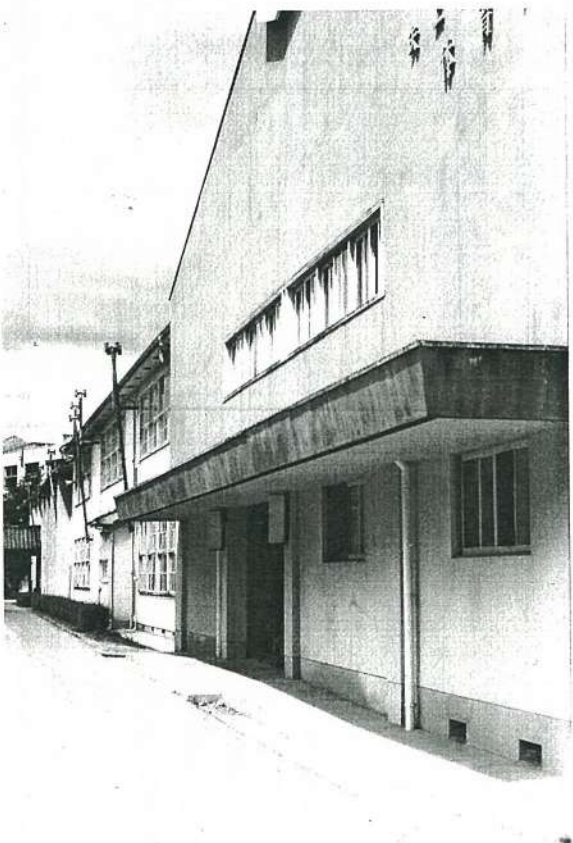
は「三学級維持」です。本校の募集定員は
百二十名です。「二年続けて定員の三分
の二を切った場合は学級減を考える」と
いう県の方針があります。学級減になり
ますと、現状の学校経営維持に大きな
支障を来します。近年の少子化により、
特に二十六年度入学対象の生徒数は町
内三校でも七十数名しかいなく、ここ数
年の最小人数の年です。次年度からは増
加傾向になります。三学級維持のために
本校校長は、県内外の近隣の学校訪問を
するなどして、生徒募集に積極的に取
り組んで募集があることを願うばかり
です。終わりに、貴支部の一層のご発展
をお祈りし、引き続き本会の熱いご支
援とご協力をお願い致します。併せて会
員の皆様のご健康とご多幸を祈念し、就
任のご挨拶とさせていただきます。宜しく
お願いします。

1枚のチケット

服部 真(17期)矢上出身

1964年東京で世紀のオリンピックの開
催年。この年は高校3年生、これからの
進路選択に悩んでいた頃、担任関本先生
が1枚のチケットを持ち込む。

「主催は朝日新聞社で全国の高校を対象
1校1名オリンピックの開会式か閉会式
を観戦する行事。チケット代はタダ、旅
費は自腹、団体行動、高校の代表、感想
文の提出、旅館宿泊日数は2泊、夜行列
車出雲号の指定席、このチケットの
抽選方法を検討、公平で簡単な方法を
選択。ジャンケンの勝ち抜き戦でチケット
をゲットするが決まる。挑戦が始まり制
約の厳しさでキャンセル者が続出、2回の
ジャンケンで2名残る。最終決戦は、2勝



懐かしい写真 体育館教室

すれば決定。緊張の一瞬 勝負運か？偶然か？ゲットする。決まった以上家族に協力を依頼。時代が時代 地方はまだ高度成長の足音も聞こえていない状況。

こんな生活環境で降って湧いたドラマに余韻のない状況であった。気がついた条件（3年時の九州修学旅行）を咄嗟に思いつく。学校行事か開会式のどちらが大切か？夢の実現、学校行事をあきらめ開会式を選ぶ。さて、旅費は、小遣は、東京での自由時間の計画・・・

自宅を出発の日、大雨で断魚溪のトンネルが通行止め発生。バスが矢上から因原まで出発出来ない。懇意にしていた駅長さんから連絡が入る。急遽、トンネルまで近所の自家用車で送ってもらい長靴でトンネルを抜ける。各校から参加者10数名が出雲駅に集合。夜行急行出雲号で東京に出発。座席も狭く自由が利かず、早朝東京の修学旅行専用の旅館に到着。食事後、国立競技場と東京体育館の見学、数人のアーティストのサインを集めた記憶がある、全てのが新鮮で衝撃的な雨の中の日でした。朝、窓を開けてびっくり雨がやんでいた。朝食を済ませ会場行きを準備。いざ出発先日予行行動していた為、予定時間に到着。雲ひとつない紺碧な空！ 抜群の環境！会場での歓声、選手の整然行進、聖火ランナーの聖火点灯、ハトの解放、ブルーインパールの五輪の輪 歓喜の開会式が終わり。言葉で表現できない感動！素

晴らしいライブでした。

会場近くの歩道橋で立ち止まり、ドラマチックなショーの余韻を味わい、周りの環境を見る余裕が出来ました。自由行動をお願いして東京見物を満喫し数日後帰路に旅立ちました。

それから四十数年間コンピュータの世界を歩み、第二の人生4年目、東京、週6日のテニスと矢上「美美由カフエ」の野菜生産者半月毎の出張生活を楽しんでいきます。この2月は矢上に帰らずソチオリンピックのテレビ観戦。フィギュアスケートフリーで浅田真央が公言どおり人生失敗を恐れずあきらめないで全力でトライする。華麗な完璧演技でメダル以上の感動・感銘を受けたオリンピックでした。

今年、国立競技場が解体されます、足を運んでもう一度、あの日の出来事を回想予定。2020年東京オリンピック決定！ビックニュースです。「感動をもう一度夢を叶えられるかな？人生振り返って見ると、この選択は、自分の人生観を変えた一瞬で幸運な1枚でした。

平成二十四年度のお礼

今年度年会費のお願い

本支部の経費は、皆様方からの会費及び寄付金で運営されております。二十五年度の会費をお納め頂きました皆様、ありがとうございます。大勢の方に、協力頂きました。

会計報告は総会の時にさせて頂きます。一口千円として何口でもお納め頂くことができるようになりました。払込用紙にて、お納め頂ければ幸いです。ゆーちよ銀行からの振込の場合には手数料がかりません。本年度の会費をお納め下さいますよう宜しくお願いします。

会費 一口千円 何口でも
口座番号 〇〇一四〇一〇一七二二七七
金融機関からの振込用 口座番号
ゆーちよ銀行 〇一九(ゼロイチキョウ)店
当座 〇〇七二二七七
口座名 矢上高等学校卒業生会 東京支部

平成二十五年度会費(十月〜三月に納入頂いた方の「芳名です」それ以前にお納め頂いた方々のお名前は前号に掲載されています。参照ください。)

- 十口二万円 神田恵介(13期)三口三千円 野田明弘(瑞穂14期)服部豊(15期)石川義之(5期)酒井富雄(22期)楠利文(5期)渡邊正己(14期)太田耕造(18期)服部俊之(15期)二口二千元 荒瀬淳(6期)高山恒子(15期)本田博(10期)宮田勝(14期)三宅雅寛(23期)三宅和子(17期)中森勝三(瑞穂13期)中村延枝(6期)高橋廣(13期)平井美千枝(17期)渡辺勤(11期)隅川和子(6期)服部眞二(17期)岡部輝生(21期)福岡幸雄(13期)山田裕三(39期)熱田和人(6期)三宅良二(35期)一口千円 江藤洋子(13期)小林千賀(13期)上田律

- 子(21期)滝厚江(8期)森岡武(14期)日野山勉(10期)一谷邦男(9期)日野勇夫(瑞穂7期)森脇清(一期)椿美津枝(13期)三宅伸二(29期)岡本博仁(15期)山本信子(13期)沖美知江(18期)島村不二子(19期)沖征広(14期)坂根節男(13期)岡部健(28期)日高文三(瑞穂1期)斉藤均(19期)原野未来将(53期)竹内常年(瑞穂18期)稲田隼(8期)洲浜豊和(12期)雨宮寿子(13期)上田昭臣(17期)宮田勉(19期)狩野恵(13期)吉里輝子(13期)敬称略



懐かしい写真から。

第39回総会

開催のご案内

最大のイベント、「支部総会」。本年度は5月25日(日曜日)に、会場は昨年同様品川区五反田の「ゆうぽうと」で開催することにしました。

はるばる品南町から、卒業生会本部の三宅正隆(10期)会長、新しく赴任される校長先生にご出席頂く予定です。10期の皆様ぜひご参加下さい。

また今年、還暦、古稀、喜寿、傘寿を迎える方は、この年だけの出席も大歓迎ですので、同期の方とお誘い合わせの上ぜひ出席頂き、「元氣な顔を見せちゃんさい」。ささやかですが記念品をご用意しております。

何かとお忙しいかと存じますが、万障お繰り合わせの上お出かけ下さいませ。ようこそ案内申し上げます。

日時5月25日

日曜日 正午〜

場所 五反田

「ゆうぽうと」

6階「菖蒲」

品川区西五反田8-4-13

電話〇三三四九四一六四七三

会費 男性八、〇〇〇円

女性六、〇〇〇円

(当日会場にて申し受けます)

(準備の都合上、五月五日までに同封の返信用はがきにて、出欠をご連絡下さいませ。よう宜しくお願いします)

矢上の方言

はあ 忘れんさつたろう、矢上弁。たまにやあ思い出しちゃんさいよ。

前号の問題きつぽ難しかったかな。子供の時、悪りいとおして、まくれて頭あ打ったりして、こさえたような。正解は「傷跡」でした。あんまりええ言葉じゃあ、ありませんが。

都会での生活が長いけえ、忘れんさつたんだらう。子供の顔にあつたちゃあいけんけえ、特に娘さんじゃあ、気がつけちゃつちんさいよ。

九十三名方から返信を頂きました。

正解者は、三宅和子(17期)前田喜信(8期)池尻智子(32期)平井美千枝(17期)稲田隼(8期)上田昭臣(17期)森岡武(14期)花本保博(10期)原野未来将

(53期)服部真二(17期)隅川和子(6期)渡辺正巳(14期)神田信子(23期)荒木雄介(14期)州浜豊和(12期)竹内常年(瑞穂18期)三宅雅寛(23期)竹内一昭(瑞穂3期)佐藤直子(26期)安原暁

(19期)日野山勉(10期)倉持桂子(14期)小林千賀(13期)野田明弘(14期)浦田庸子(6期)日野原育夫(8期)小泉三都枝(27期)中野恭子(28期)上田一夫(22期)友澤桃枝(22期)三宅綾子

(18期)柳瀬百合子(8期)友澤寛(20期)南口一代(6期)楠利文(5期)三宅正隆(10期)日野勇夫(瑞穂7期)中岡庸修(15期)高山恒子(15期)藤橋百合恵(21期)沖征広(14期)沖美知江(18期)

植原稔子(10期)上田律子(21期)後藤勝子(6期)榎昇(30期)酒井富雄(22期)日高勇(19期)山本立身(15期)神田恵介(13期)椿美津枝(13期)渡辺勤(11期)中村輝夫(4期)本田博(10期)

石川義之(5期)(正解者55名順不同)正解者の中から抽(5名の方に記念品をあげようと思っております。総会の時に用意しとくけえ、正解しんさつた方は出席しちゃんさい。楽しみにしとつちんさい。

さあ、今回の矢上弁の問題は「ぶえん」です。思い出しんさつたかな。難しかりう。近頃らあ、交通事情が良おなつたけえ、あんまり言うことは少のうなつて、使(う)とりんさるまあ。「ぶえん」とは、思い出しちゃんさい。

今年も早3月。月日のたつのがなんと早いこと。あの東日本大震災から3年。復興には、まだまだ長い道のりのようです。一日も早い復興を祈念しております。前号でお知らせしました「スイーツ甲子園」大勢の方がご覧になったようで、頑張っている姿を見て、頼もしく思いました。最近マスコミにもチョコチョコ登場するようになった品南町。里山として見直されるようになり嬉しく思います。

今号頂きました原稿は昨年お寄せ頂き有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。次回発行は9月の予定で、記念の10号となります。皆様からの原稿をお待ちしております。テーマは自由。身近なことから、専門的なことまで、連載も結構です。また個別にお願いさせて頂きますが、その節にはご協力の程、どうぞ宜しくお願いします。十分注意しておりますが誤字脱字や、見づらいところもあろうかと思ひます。どうぞお許し下さい。お気づきの点がありましたら何なりと申し付け下さい。

よお思い出しんさらんかったら、矢上の親戚やお友達に電話して聞きんさつたもええで。

編集後記

今年も早3月。月日のたつのがなんと早いこと。あの東日本大震災から3年。復興には、まだまだ長い道のりのようです。一日も早い復興を祈念しております。前号でお知らせしました「スイーツ甲子園」大勢の方がご覧になったようで、頑張っている姿を見て、頼もしく思いました。最近マスコミにもチョコチョコ登場するようになった品南町。里山として見直されるようになり嬉しく思います。

今号頂きました原稿は昨年お寄せ頂き有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。次回発行は9月の予定で、記念の10号となります。皆様からの原稿をお待ちしております。テーマは自由。身近なことから、専門的なことまで、連載も結構です。また個別にお願いさせて頂きますが、その節にはご協力の程、どうぞ宜しくお願いします。十分注意しておりますが誤字脱字や、見づらいところもあろうかと思ひます。どうぞお許し下さい。お気づきの点がありましたら何なりと申し付け下さい。

いよいよ春、旅立ちの季節です。何かやり始めるにはいい季節です。五月の総会でお会いするのを楽しみにしています

三宅 良二(35期) 矢上出身